

上田仮説サークルニュース		3月例会	2020.03号
編集責任 遠藤 裕		発行2020.4.25	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サンダーテーン中野B-G		TEL0269-23-2847	携帯090-1406-9115
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp		勤務先 中野西高校	TEL0269-22-7611

3月21(土) 上田市中央公民館 第1・第2学習室
午後3:00~8:00



参加者数7名
資料総ページ 68 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 渡辺規夫さん, 山田翔輝さん, 増田伸夫さん, 北村秀夫さん, 北村知子さん, 遠藤裕

はじめに 3月例会の参加者は7名。

第3回読書会 例会に先立って午後2時から3時まで渡辺規夫さん主催の「第3回読書会」がありました。

テキストは板倉聖宣著『科学と方法 科学的認識の成立条件』(季節社刊)。内容は、「科学的思考力の養成はいかにすればよいか—主として母親たちのために—」(43ペ~60ペ)。渡辺さんには、資料「第3回『科学と方法』読書会メモ」を用意していただき、補足の説明をしていただきました。また、実験を交えながら(写真)補足の説明をしていただきました。文章の背景にある板倉さんの考えに触れることができ、大変充実した読書会でした。



55ペ, 56ペの実験をする渡辺さん

例会は3時過ぎから始まりました。発表資料は、柳沢さん9本(新聞記事の紹介は1本として)、増田さん1本, 知子さん1本, 秀夫さん1本, 渡辺さん1本の合計13本。

また、今猛威を振るっている新型コロナウイルスに関連して、渡辺さんが授業書案<コロナウイルス学入門>(井藤伸比古さん)の体験講座を実施してくれました。準備をありがとうございました。参加者でいろいろ意見を出し合いながら基礎知識を学ぶことができたように思います。

終了後、大戸屋で夕食会。

<本の出版>

渡辺規夫さん出版の本の紹介	
『渡辺規夫講演 科学史研究と仮説実験授業』	上田仮説出版
板倉さんは何のために科学史を研究したのか	
『日本科学史学会シンポジウム 科学史研究と教育』	上田仮説出版

『寛容の思想の成立と発展 第10集 牧衷』	上田仮説出版
『日本科学史学会シンポジウム 板倉聖宣の科学史研究と仮説実験授業』	上田仮説出版

柳沢克央さん出版の本の紹介

『竹内三郎 仮説実験授業の将来展望』 信州・ふたつやなぎ書房
— 「長谷川帽」と「偏見を抑圧しない組織」 —

1. 発表資料

① サークルニュース 2月例会 遠藤 裕 (7ペ)

- ① サークルニュース 1月例会 遠藤 裕 (18ペ)
- ② <<自由電子が見えたなら溶解>>感想 北村知子さん (5ペ)
- ③ 「ダイヤモンド単格格子」の資料 高見沢一男さん (1ペ)
- ④ 化学を学ぶための資料 <4部作> 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑤ <定期考査④範囲を俯瞰し、作問する授業の試み>の感想 柳沢克央さん (10ペ)
- ⑥ 2年生理科生徒板書の記録 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑦ 【難溶性硫化物の溶解平衡に関する考察展開例】 柳沢克央さん (1ペ)

② 2020年読書メモ2・3月号 柳沢克央さん (4ペ)

— 歴史的大変革「コロナ・ショック」の時代をどう読解するか —

佐藤優『十五の春』(上・下) (幻冬舎・2018年)

柳沢さんが読んだ本の紹介。

〇はじめに

武漢発の新疾病が世界中を席卷しています。突如として激動の時代に突入しました。まあ、よく考えるといくつもの「予兆」があったわけですが…。民主主義の危機です。そしてさまざまなフェイク・ニュースに溢れています。どう読解したら良いか。今までの読書経験の真価が問われます。深読みしすぎてもダメ、全く読まなくてもダメ。学び方は人それぞれです。楽しみながら、激動の時代を生き抜いていきましょう。

◇今月までに読んだ本

- ◆野村克也著『野村のイチロー論』(幻冬舎・2018年)
- ◆『親が知っておきたい学びの本質の教科書・教科別編』(朝日新聞出版・2019年)
- ◆佐藤優著『十五の春』(上下)(幻冬舎・2018年)
- ◆ユヴァル・ノア・ハラリ著『21Lessons (21世紀の人類のための21の思考)』(河出書房新社・2019年11月)
- ◆ユヴァル・ノア・ハラリ著『ホモ・デウス』(上下)(河出書房新社・2018年)
- ◆立川談慶著『教養としての落語』(サンマーク出版・2020年)

○企画メモ 激動の時代を迎えて、山内太地（たいじ）さん（大学イノベーション研究所所長）の講演を聴きたい。屋代高校内での実現を目指しますが、広く地域の教師・保護者にも聴いていただきたい新時代の息吹きを共有する機会を早く設けたいと思い、本メモを作成しました。

○なぜ、山内太地さんなのか ○現状分析 ○生徒を対象にした講演は・・・
○聞き手の問題いい式に十分に答えてくれる力量を備えている。 ○どのようにしたら、・・・

○まとめ

生徒たちの声が聞こえない学校は寂しい。早くいつも通りの学校に戻りたいものである。そのために、いま自分がすべきことを探して一つ一つこなしている。きょうは、このメモの他に4月最初のテスト問題を作成した。自分にコントロールできることに集中して、少しでもまとまった形に残るものを作りたいと思う。次は牧さんのテープを聴き直すことから始めようと思う。〔2020年3月19日（木）16:30〕

③ 丸山眞男『増補版・現代政治の思想と行動』（未来社）より 柳沢克央さん（2ぺ）

丸山眞男の著書にあるナチスの「狂気の支配」から今の状況を見直す。

2020年3月20日（金・祝） 最近の「歴史的な大変動の予兆」に直面して丸山眞男『増補版・現代政治の思想と行動』（未来社）「8 現代における人間と政治」より抜き書きし、最後にコメントを付します。

0. ～9. …略

10. 【柳沢のコメント】「家々も、店も、仕事も、食事の時間も、訪問客も、音楽会も、映画も、休日も……」とあるが、2020年の春これらの機能が停止しつつある緊急事態が始まっているように見受けられる。われわれは、これからどこに向かうのだろうか。ナチスよりもさらに嫌悪すべき世界に突入していくことを避けるにはどうすればよいのだろうか。世界的な視野から、歴史的に現状を見直すべき時ではないか。意識して遠く離れて俯瞰し、冷静に想像してみる必要がありはしないか。

フェイスブック投稿 2020年3月20日（金・祝）早朝 文責・柳沢克央

④ facebook投稿再録 2020年3月21日（土）朝6:00 柳沢克央さん（1ぺ）

現代日本の政治に対する問をきだみのるの著書から解説。

問【どうして現代日本の政治は法的に筋が通らないのか】

→答【現代日本はじつは「近代社会」ではなく、「ムラ社会」だから】

最近の日本の国政は法律違反ばかりがまかり通っている。なぜなのかをきだみのる著『にっぽん部落(ムラ)』(岩波新書)にある「ムラの掟」から解説する試み。

「ニッポンムラ」では法律はタテマエにすぎず、タテマエよりもホンネ＝掟(オキテ)が優先される。

オキテは次の4条。①刃傷するな。＝暴力はいけない。②他人の家を燃やすな。＝他人の財産不可侵。③盗人するな。＝同上。④部落の恥を外にさらすな。第4条を翻訳すると「警察に通報するな」ということ。

安倍晋三氏は、検察を丸め込んで権力を思うがままにしようとしているが、オキテには反していない。という解釈も可能。

安倍晋三氏は①頭がおかしい。②嘘をついている。③重大なことを隠している。①～③またはこれらの組み合わせであることを、国民はみんな知っていて、なおかつ支持率は低くない。これはどういうことか。→じつは国民は賢くて、あきらめている。現在の日本国首相が「ジョーカー」になっていることをみんな知っているのでしょうか。毒を食らわば皿まで…。

⑤ <今月の領域問題7：中国自治区独立問題> 増田伸夫さん(12ペ)

(おとなのための基礎知識?) (2019.11.23)

質問形式による「中国自治区独立問題」の基礎知識。

1. 中国自治区独立問題(チベット/ウイグル問題)とは?

◇漢民族と少数民族

◇92%の漢民族と8%の「少数民族」

2. チベット自治区

(1) チベット自治区の歴史

①大国・吐蕃(7C)～ダライ・ラマ5世(17C)

②中国による侵攻(1949)→和平合意→準備委員会

◇ダライ・ラマ14世と抵抗運動

(2) チベット自治区独立問題の経緯

①チベット暴動(1959)

◇チベット暴動のきっかけ

②ダライ・ラマ14世のインド亡命と亡命政府の樹立

③中国政府による抑圧と抵抗運動の激化

◇宗教活動禁止とチベット仏教寺院の破壊

◇(漢民族が実権を握る)チベット「自治区」成立

◇漢民族移住政策

(3) チベット自治区独立問題の今後(著者の見解)

- ①独立問題に対する中国政府とダラ・イラマの言い分
- ②独立問題の今後（経済発展とダライ・ラマ元首引退）
 - ◇中国の経済発展
 - ◇ダライ・ラマ14世の亡命政府元首引退（2011年）

3. しんちやん新疆ウイグル自治区

（1）新疆ウイグル自治区の歴史

- ①現代ウイグル人＝トルコ系イスラム教徒
 - ◇中国王朝（漢、唐）の影響下に
- ②新疆とは？
 - ◇ウイグルを清朝が征服（1759）
 - ◇直接的なウイグル統治へ
 - ◇新疆省の設置と漢民族の大量移住（同化政策）
- ③ウイグル人指導者による二度の独立と中国への統合
 - ◇二度の独立国家樹立
 - ◇中国への統合と新疆ウイグル自治区の成立
 - ◇漢民族の大量移住政策
 - ◇文化大革命で新たな苦難

（2）新疆ウイグル自治区独立問題の経緯

- ①民族政策の緩和（1980年代）と反動（1990年代）
- ②ソ連の崩壊→独立目指す機運→恩恵配分への不満

（3）新疆ウイグル自治区問題の今後（著者の見解）

- ①中国政府と世界ウイグル会議のくい違う主張
- ②問題の今後（ウイグル人と漢民族）
 - ◇ウイグル人の民族運動をテロリズムとする中国政府
 - ◇ウイグル騒乱＝ウイグル人と漢民族の民族対立へ

<あとがき> チベット・ウイグル～香港～台湾

「昨日のチベット・ウイグル，今日の香港，明日の台湾，（明後日の沖縄）」という言葉があるという。

高橋らが指摘しているように，中国政府は＜各民族(自治区)の独立を含む自決権を断固として認めない政策＞を今までとり続けてきたし，今もとり続けている。それは国内（チベット，ウイグルなど）だけでなく，海外での問題（香港，台湾）を取り扱う際の基本姿勢にもなっている。これは中国共産党の一方支配を揺るがせないために必要だという指導部の事情だけでなく，常に外敵に襲われてきた経験から安全保障の意識が高く，＜民主化よりも国家（政治）の安定を優先する＞中国国民の国民性によるところも大きいのではないか。

中国は清朝の時代からウイグルへ漢民族を大量移住させていたが、中華人民共和国になってからも、ウイグル自治区やチベット自治区へ漢民族を大量移住させる政策をとり続けている。多民族国家の中国は、このようにして、民族の自決権を認めない基本姿勢を必死で貫こうとしているのでしょう。（増田）

⑥ 《ばねと力》途中経過 北村知子さん（6ペ）

富岡西小6年生での《ばねと力》の感想。

1月31日から、6年生で《ばねと力》を始めました。

昨日（2/19）、第1部、2部が終了し、ここまでの感想（今はやりの「振り返り」）を書いてもらいました。

物が下に動くのは地球の重力があるためであるということに、子どもたちはまず認識を新たにしました。

そして、ばねに力の矢印を書く問題で、下に引っ張られたばねが元の長さに戻ろうとして上に物体を引っ張り上げる力を出している、地球の重力とばねの弾性力が釣り合った結果、物体は静止しているということを知ります。

このあと、固いばねに100gの物体をつり下げるとばねは伸びるのでしょうか、の問題では自転車のスタンドに使われているばねをスタンドからつり下げてみました。

「先生、一度おもりをばねからはずしてみて。」「なるほど～」「もう1回ぶら下げてください」「あ～、伸びてる伸びてる」と言うのです。

一連の問題をやってくると「心の目」で見られるようになるのでしょうか。

そして、針金に物体をつり下げると「伸びてる!」、ひもに物体をつり下げると「伸びてる!」と言うのです。

机に物を載せると、机を作っている粒子が縮んで元にもどろうとして力を出す、というお話にえらく感動していました。

こうして新しい世界観を獲得して終わった第2部、子どもたちの文章を読むと、大事なことが伝わったと思います。

<子どもたちの感想より>

○《ばねと力》の学習をして、今まで知らなかったことがたくさん分かりました。

その中でも印象に残ったことは、みんなばねのような性質があるということです。なんで重力があるのに、机の上のものは下へ行かないのかな?と思ったけれど、その答えが「木も鉄もばねの性質を持っているから」と知ってとてもおどろきました。目に見えないけれど、2千万分の1や10万分の1など想像も出来ないくらいの小ささで縮んでいるなんて考えられません。そのことを聞いたとき、とても驚くと同時に、とても未知の世界を知ったようで印象に残りました。

○ばねにおもりをつるすと、ばねの力と地球の引力が同じくらいだからおもりがおちない

ということがわかった。

どんなものでも、少しはちぢんで力を出しているということがわかった。

矢印の書き方は、地球の引力が物の中心から、そのほかは物とその物のあいだから書けばいいことがわかった。

○ばねは何か力が加わると、どこまでものびていったりはせずに、その分の力を自らでもどしていることがわかりました。

机の上に物がのっても、ずぶずぶいかないのはなぜかという問題で、物体は少しだがすべてばねのような性質をもっているからと教わりびっくりしました。

鋼鉄だった場合、 1cm^2 あたり 1g のものがのると2千万分の1くらいちぢむと知って見てみたいと思いました。

第3部では、滑車と滑車の間に水平にセットしたばねの両端におもりをつり下げておいてから、左のおもりをはずしてひもを結びつけてしまうと、ばねの伸びはどうなるか、の問題から始まります。

初めは伸びの長さが半分くらいになる、という子が5~10人、伸びは同じくらいの長さになるという子が15人前後、2倍になるという子が2~3人くらいという状況でした。伸びは同じ、という子たちに「力の原理」を使って説得されていました。

その後、しばらく問題をやっていくと、横につながった原子が引き延ばされたお話が出てきて、子どもたちはとても納得していました。ここでは、4人の子たちに前に出てきてもらって、手をつないでもらい、私が端の子を引っ張って伸びたり縮んだりしてもらったので、イメージがわいたのでは、と思います。

2月28日(金)には第3部最後の問題の[研究問題4]まで終わりました。次は第4部、そして卒業前に第5部の「力の平行四辺形」まで終わりそうだな、と思っていたのですが、翌週3月3日(火)からの休校が決定し、授業が突然終わってしまいました。

力の平行四辺形まで行ったら、平行四辺形を書けるように、何かお助け道具を考えなくっちゃと思っていた矢先だったので、残念このうえありません。

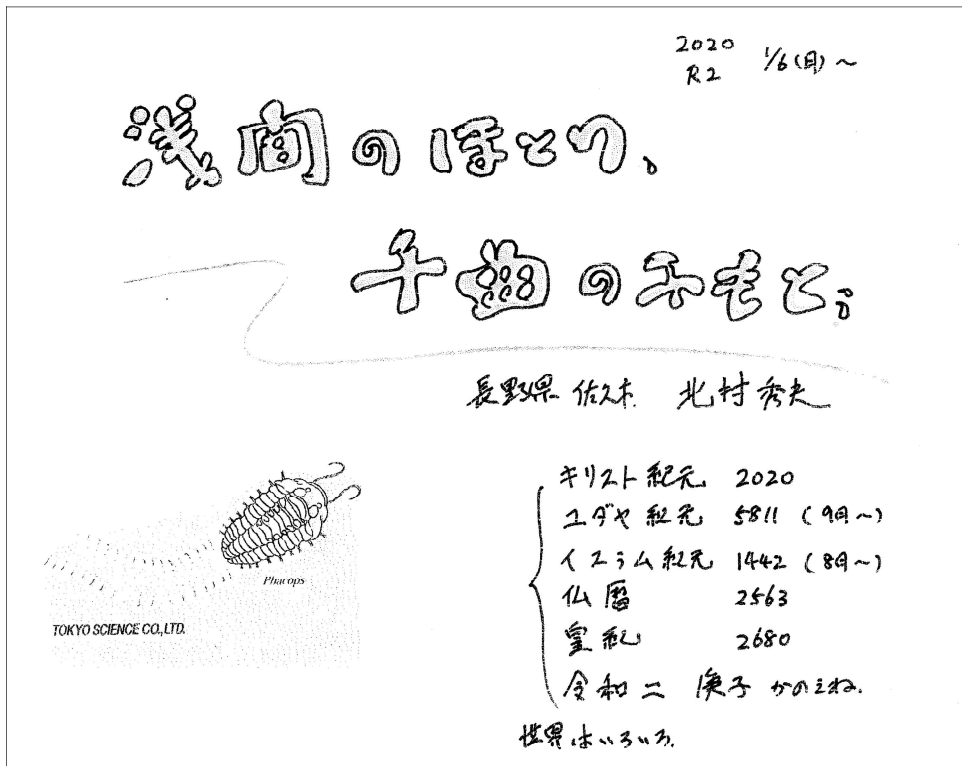
授業の感想も聞けなかったな~。

でも、原子はばね、ものはみなばね、ということを知ってもらえただけでもよかったと思います。

子どもたち、第1部、第2部だけでもとっても感動していたのだから。

⑦ 浅間のほとり、千曲のふもと 北村秀夫さん (8ペ)

秀夫さんの手書きのレポート。



○<東日本 たのしい授業2012>で杉山亮さんに教えてもらったことなどようやくまとめています。

<紙とエンピツで楽しめること> ①~⑫まで口頭で説明してくれました。

- ① <25>
- ② <線つなぎ>
- ③ <動物>
- ④ <ビンゴ>
- ⑤ <アキストゼネコ> 恋占い、相性チェック
- ⑥ <%占い>
- ⑦ <ジャンケンお絵かき>
- ⑧ <1文字俳句>
- ⑨ <スプラウト>or芽生え
- ⑩ <線路>
- ⑪ <潜水艦>
- ⑫ <ナンバープレート>

○2019 (H31~R1) をふりかえって…

1月から12月まで秀夫さんにとっての主な出来事がメモされています。

⑧ 印象に残った授業ベスト3 (2019年度) 渡辺規夫さん (1ペ)

高校2年生でおこなった1年間の授業のアンケート。

上田東高校 物理基礎 年授業アンケート2f講座 (授業者 渡辺規夫)

2eは休校のため不実施

	授業	概要	やり方	1位	2位	3位	単純合計
1	見れども見えず	問いかけなければ	仮説実験授業	0	1	1	2
2	コペルニクスと近代科学の誕生	科学史	仮説実験授業	3	2	2	7
3	速さと直線	速さと時間と距離	教科書授業	1	0	2	3
4	等加速度運動	グラフから公式を	教科書授業	2	1	3	6
5	落下運動の世界	ガリレオの思考を追体験	仮説実験授業	1	4	0	5
6	鉛直投射	計算で予言できる	教科書授業	1	1	5	7
7	水平投射 斜方投射	どこに落ちるか予言	教科書授業	2	1	2	5
8	ものはみなばね	原子論から力の概念	仮説実験授業	1	1	2	4
9	力のおよぼしあい	力は相互作用である	ビデオ	3	1	1	5
10	さまざまな力	力は接触しない限り	教科書授業	1	1	0	2
11	力のたしざん	平行力のたしざん	ビデオ	1	5	0	6
12	力の平行四辺形の法則	斜めの力のたしざん	ビデオ	0	1	2	3
13	運動の法則	実験的に確認	教科書授業	0	2	0	2
14	演習 運動方程式	班で演習	教科書授業	1	0	0	1
15	力学的エネルギー	エネルギーに注目	教科書授業	0	1	0	1
16	熱	熱は分子運動	教科書授業	1	1	2	4
17	波動	縦波と横波	教科書授業	1	2	4	7
18	音	共振、共鳴、固有振動	教科書授業	1	1	3	5
19	びりりん	一流体説による静電気	大道仮説実験	14	4	1	19
20	フランクリンの塩ビ管こすり	電気の流れとお金の流れ	紙芝居	5	8	5	18
21	霧箱で見る宇宙線	宇宙線の研究史	仮説実験授業	1	2	5	8

単純合計のベスト3

1位 びりりん 19票

2位 フランクリンの塩ビ管こすり 18票

3位 霧箱で見る宇宙線 8票

教科書授業 36% 教科書以外 64%

年間授業アンケート

楽しかったですか

5 とても楽しかった 13人	4 楽しかった 21人	3どちらとも 書えない 5人
82.50%		

2つまらなかつた 1人

ためになりましたか

5 とてもため になった 10人	4 ためになった 25人	3どちらとも 書えない 4人
87.50%		

1全くためにならなかつた 1人

感想・印象に残った実験 実験があつてわかりやすかつた。3階からゴルフボールとピンポン球を落とした実験。実験など一つ一つ実際にやってくれてとてもわかりやすかつた。とても印象に残つた。物理学者は見えないもの、法則を仮定を頼りに見つけ出そうとして無謀だなどと思つた。でもそれが今の自分に重なつてとても勇気をもらった。ありがとうございました。楽しかつた。吹き矢の実験が印象に残つた。景高でした。実験でわかることも多かつた。自由落下の実験。びりりんたのしかつた。

⑨ 信濃毎日新聞データベースからの紹介 柳沢克央さん（2ペ）

新型コロナウイルスをめぐる日本政府の対応についての記事。

<新型コロナウイルス>

思索のノート・沈黙の言葉に出会う(12)＝新型コロナ政府の対応 問われている政治の本質(中島岳志)

2020(令和2)年3月7日(土) 朝刊10ページ 文化1面 M6版

執筆者の中島岳志氏は「新型コロナウイルスをめぐる日本政府のまずい対応を見ながら、読み返した本がある。新田次郎『八甲田山死の彷徨(ほうこう)』(新潮文庫)だ。」と書いています。そして「このプロセス(八甲田雪中行軍遭難事件)は、大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の惨劇と類似している。」「根拠の薄弱な希望的観測を優先することで問題を拡大させ、より悪い状況を作り出す。判断ミス認めず、引き返すことができない。100年以上前に雪の八甲田山で起きたことと同様の問題が、横浜に停泊するクルーズ船で起きたのだ。」とのこと。そして次のように結んでいます。

「政府が真っ先に行うべきは、国民との信頼関係の回復だ。高齢者や基礎疾患がある人たちの命が危険にさらされている。政治のあり方の本質が問われている。」

⑩ 紹介：「金沢ふるさと偉人館」のリーフレット 柳沢克央さん（2ペ）

金沢ふるさと偉人館の紹介。

<偉人館のあゆみ>

リーフレットより

金沢ふるさと偉人館は平成5年(1993)に高峰譲吉、三宅雪嶺、木村栄、藤岡作太郎、鈴木大拙の5人の偉人を展示、開館しました。

その後金沢ゆかりの「近代日本を支えた偉人たち」として、さまざまな分野で国際的国家的業績をあげた人々を加え、現在に至っています。また企画展としてさまざまな金沢ゆかりの先人について顕彰展示しています。

リーフレットの裏面に、展示されている偉人32人の名簿が載っています。柳沢さんは「すばらしい博物館、見ごたえ最高です」とのこと。

年前の3月11日東日本大震災以来の歴史的な変動が始まっている。この機会に、国際社会における日本の立ち位置（プレゼンス）を再考することが必要不可欠だろう。◆各企業では必至に「大戦略の組み直し」を行っているはずである。状況把握は必ずしも十分ではないが、経済変動に向けて抜本的な考察とアップデートが求められている。学校も。「生徒の学校不適応」を云々する前に「学校の社会不適応」を解決するのが先だろう。◆それにはまず「教職員の現実的な社会適応」が重要なステップとなろう。当分の間は「場当たりの」に見えても、こまめにアップデートしていくことになるだろう。〔柳沢克央しるす〕

⑫ 「楽しく勉強したもん勝ち！」 柳沢克央さん（1ペ）

学ぶ生徒へのメッセージプリント。

😊 「楽しく勉強したもん勝ち！」 2019.4 柳沢克央

- ・ 新テスト試行 予想外の結果
 - 担当者がイメージできていない or イメージと現実のズレが大きい
- ・ 大人はあてにならない
 - 大人が受けてきたのは 非揮発的、非対称的で浅い学び 毛子教育
- ・ オマケ
 - 「戦わずして勝つ」
 - 「教えずに教える」
 - 自分で できもしないことを要求するのは〇〇!
- ・ 学校の存在意義が変化する時代（日進月歩）
- ・ 今の鉄道で同世代の学校はいくつかあるが……
- ・ 1930 - 1945 - 1960 - 1975 - 1990 - 2005 - 2020 - ……
- ・ 自らの付加価値を高めるために目的意識を持って学ぶ
- ・ 「真似る」だけではない。「真似て真似て真似てはみ出さず」
 - (守 → 打破 → 離脱)
 - 進化の波 → (古く習得) (ウチギとカキ) } 古典 現代 } このが本音の「個性」
- ・ 入試問題の迷信を打破せよ!
- ・ 真理は簡単ではなくとも多くは単純。 ・ ショーペンハウゼルの人生論 (多岐)
- ・ 単純なことを簡単にできるようにするのは成功への道が開ける。
- ・ 授業・テスト・模試・本番 ・ 金メダルの向こうに 😊

⑬ 高校入試問題に対する批判 柳沢克央さん (1ペ)

今春の長野県の高校入試理科の問題に対する問題点の指摘。

理科の化学分野で出題された問題を指摘。実験の説明に「…3本のペットボトルに水温1℃, 15℃, 26℃の海水をそれぞれ100g入れ, …」とあり, 「…水温と海水に溶ける二酸化炭素の量にはどのような関係があるといえるか, 簡潔に書きなさい。」という問に答えさせるもの。柳沢さんは次のように指摘しています。

【指摘】 本問は悪問である。理由：①海水の温度は海水温であって水温ではない。海水は混合物。②溶液(海水)への気体の溶解は中等教育で扱うべきではない。③実験で扱う物質はできるだけ単純化して注目すべき結果がシャープに出るものでなければならない。溶媒は水で充分である。

⑭ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん (4ペ)

新型コロナウイルス関連の日本経済新聞の記事の紹介。

○2020(令和2)年3月17日(火)

新型コロナウイルス対策の検証(上) 野口晴子 早稲田大学教授

平時と有事変わらぬ体制を

ポイント ・公的医療支出はインフルエンザには有効 ・欧州は感染爆発の脅威に直面する事態に ・科学に基づいた「トリアージ」の徹底を図れ

柳沢さんのひとこと これこそ「答のない問」「主体的, 対話的で深い学び」そのものだ。「ピンチはチャンス」だ。「科学は民主的な社会にのみ生まれ, 民主的な社会を守り育てる」「想像力をはばたかせる時, それが今だ」

○2020(令和2)年3月18日(水)

新型コロナウイルス対策の検証(下) 喜多全好 富士通総研チーフシニアコンサルタント

利害損失「見える化」努力を

ポイント ・感染症の被害は人的資源の低下が中心に ・予測困難だが可能な限り想定外を減らす ・継続すべき業務の精査と打ち手の準備を

柳沢さんのひとこと 「最悪を想定して, これを避けるために準備する」ことは生存のための必要条件である。

○2020(令和2)年3月20日(金)

FINANCIAL TIMES マーティン・ウルフ チーフ・エコノミクス・コメンテーター

コロナ対策 政府の出番 失業保険で救済 最後の買い手に

柳沢さんのひとこと 現状をもっとも良く俯瞰している優れた記事。きちんと読み込んで将来に備えよう。

○2020(令和2)年3月21日(土)

Deep Insight Opinion 上杉 素直 本社コメンテーター

収束へ危機の歴史に学べ

私たちはいくつもの危機を乗り越えてきた

- ・ 1990年代：バブル崩壊後の不良債権問題→小出し対応で長引いたが、2002年「竹中プラン」で解消へ
- ・ 2000年代：サブプライム問題でリーマン破綻→G20サミットを創設し、米中を軸とした国際協調で乗り切る
- ・ 2010年代：東日本大震災で福島原発事故→独立性の高い原子力規制委員会をつくり、安全面の基準を強化
- ・ 2020年：新型コロナウイルスの感染拡大→世界経済の失速回避やウイルス封じ込めへ国際協調？

柳沢さんのひとこと 「ポイントは正確な現状把握と素早い対応」「全体像の俯瞰」「歴史に学ぶこと」「責任と信頼」

2. 体験講座 授業書案<コロナウイルス学入門>

2020. 2. 22(2. 27新版, 2. 28, 3. 5四訂版)井藤伸比古

講師：渡辺規夫さん

井藤さんは「はじめに」で次のように述べています。（はじめに）現在、日本で最大の問題は、新型コロナウイルスです。テレビ・新聞でも、毎日、膨大な量の報道がなされています。

が、その報道には、肝心なことが抜けているように思えてなりません。自然科学的な視点です。私が知りたいことは何か。日本国民必須の知識は何か。それを問題形式にしてみました。さらに、どなたかが深めてくださって、きちんとした形にくださるとうれしいです。作成した私自身、ウイルスについてのシロウトです。この冊子をもとに、ぜひみなさんと議論していただきますように、お願いします。

サークルでは、いろいろな意見を出し合いながら、たのしく講座を受けることができました。井藤さんがおっしゃっているように、体験講座をきっかけにさらに充実させた授業書ができればいいと思います。渡辺さんにはご準備をありがとうございました。

あとがき 4月下旬に入ったとはいえ、まだまだ寒い日もあり、新型コロナウイルス対策も併せて体調管理に充分気を付けなければいけない日々が続いています。

学校は5月6日(水)まで休校となり、学校内はひっそりとしています。生徒のいない学校の静けさは、いやおうなしに今の非常事態の重大さを自覚させ、今は授業の再開に向けてじつと堪え忍ぶしかないと思わされます。先日の職員会は4会場に分かれ、ZOOMを用いた会議でした。まあまあ効率的に参加することができました。今後しばらくこのような会議が続きそうです。数学の先生方は、授業の動画を作成したり、質問のある生徒とネットで交信したりという試みをしています。

4月例会は、ZOOM会議になります。渡辺さんがいろいろと準備をしてくれています。時代はもうこのようなITを利用した会議や研究会などが主流になっていきそうです。何とかついて行かねばと思っていますが。 (エンドウ)

★ 今後の予定 ★

5月23日(土)

6月27日(土)

7月25日(土)